

# むすんで ひらいて

第43号

発行日  
令和元年9月

発行：福井市地区社協連絡協議会  
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階  
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)  
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック  
ナンバーをご覧ください

## ♡ オープンまでの流れ ♡

- H30秋 安居地区内の高齢者を対象に、困りごとについてのアンケート実施
- H31.1 アンケートの結果をもとに、民生委員や福祉委員、公民館主事が意見交換。「気軽に集まれる場・機会を増やす取り組みが安居地区でもできないか」との意見が出る
- H31.2 桜ヶ丘西自治会で行われている自由度の高いサロンをモデルに、地区社協の自主事業として実施しよう!!と決定
- R1.5 住民主導の「安居カフェ」開設  
現在、安居地区内に5つのカフェがオープン。  
自治会単位で、月1~2回のペースで開催しています。



夜の開催もあります。



高村さん

小林会長

安居地区社協（小林享会長）が中心となって立ち上げた、誰でも集えるサロン「安居カフェ」。はじめようと思ったきっかけや、オープンまでの流れを安居地区社協の高村さんにお聞きしました！

顔の見える関係をつくる

## 安居カフェ

## はじめました

安居地区社協



はじめようと思ったきっかけは何ですか？

アンケートの回答に「話し相手があほしい」という意見もあり、各自自治会に集まれる場所を作れないかな、と思ったことがきっかけです。  
準備をされていて大変だと思ったことはありません。ただ、安居カフェがちゃんと立ち上がるのが、人が集まるのか、という不安はありました。

安居カフェのねらいとは？  
元気なうちに顔の見える関係を作ることで、将来、助けが必要になった時に相談できます。また、集まってくる人の中からボランティアとして活動してくれる人を見つけることもできますね。

よろず茶屋にしなかった理由は？  
たくさんの人に集まってもらうために、よろず茶屋よりも、そこに自由に開催できる今の形を選びました。カフェの内容について教えてください。

健康体操は必ずやっていますが、あとは各カフェで



「ほおずき」の皆さん 話の花が咲きます

### 参加する皆さんの声

安居カフェ「ほおずき」(桜ヶ丘東自治会)

- 月2回参加するのがすごく楽しみ！
- 裁縫しながらおしゃべり、頭と指先を使ってポケ防止になるわ。
- 情報交換ができるのがいい。みんないろんなことを知っているのて感心します。
- 他の人の作り物を見て、「自分も作りたい！」と刺激を受けるよ。
- 地区の人に、もっと「ほおずき」を知ってもらいたい！



みなさんの作品。どれもステキです。

自由に取り組んでいます。楽しく長く続けるためにはどうしたらよいか、今後考えていきたいです。  
どのような人が参加していますか？  
50~80代の人が毎回40名ほど参加しています。開催場所によって、集まる世代もメンバーも違います。  
課題はありますか？  
男性の参加者が少ないことです。男性の安居カフェもできるといいなと思います。  
今後の取り組みは？  
開催場所を増やし、たくさんの方が参加し、交流できる場を設けたいです。年に1回くらいは5つのカフェ合同での安居カフェをやりたいですね。